

令和7年 3月 7日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書（SDGs 応援事業補助）

（宛先）

戸田市長

団体名 Pico22（ピコニャンニャン）

代表者職・氏名 代表 清水真奈美

所在地

事業名	Cat&Art! 2025
実施期間	2025年 1月 21日 ～ 2025年 2月 28日

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

<事業の具体的内容>

Cat&Art! 2025（啓発活動）を下記のとおり実施しました。

開催日：2025年2月16日（日）

時間：11:00-16:00

会場：東部福祉センター（中会議室・大会議室）

参加者及びその人数：セミナー参加者 70名（満席）

Cat&Art2025 ご来場者：約1,000名

スタンプラリーで各会場をまわっていただきました。

【PR方法】

- ・パンフレットを作成して地域の方々に配布
- ・Pico22（ピコニャンニャン）のホームページ、Instagram、ブログで告知
- ・戸田市 SNS での周知
- ・公共施設へのチラシの配架
- ・戸田市ボランティア・市民活動支援センターの掲示板などに掲載
- ・メンバーが個人的に告知

【実施体制】

- ・Pico22（ピコニャンニャン）会員 10人
- ・ボランティア 3人（里親様）
- ・ボランティア 5人（アートの展示、ワークショップ）

【内容】時間 13:00～14:30

- ①獣医師によるセミナー 講師：矢作聡志先生（ワラビー動物病院）
- ②獣医師への質問：教えて矢作先生
- ③保護猫の写真とポスターの展示
- ④トルコエブルアート※トルコは世界一猫に優しい国と言われている。
- ⑤猫のアートのワークショップ、販売
- ⑥ステラアートの展示
- ⑦どうぶつ基金で作られた絵本の配布とポスターの展示
- ⑧Pico22の団体パンフレットの配布

・その他

募金箱の設置（大会議室）※東部福祉センターの許可済み（募金額 34,896 円）

・協賛

協賛物資のチョコレートのプレゼント

協賛企業：株式会社ロッテ

協賛数量：200 個（トッポ）

<SDGs の成果>

SDG s の該当ゴール

SDG s 15 陸の豊かさを守ろう

SDG s 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

獣医師によるセミナーや、猫のアートのワークショップや販売を通して保護猫について市民に考えていただく機会になりました。この機会を通して保護猫に対する優しさや心の豊かさが生まれるような体験をしてもらい、陸のいのちの大切さを伝えることができました。

また、来館者のどうぶつ基金の絵本、Pico22のパンフレットの配布や動物基金のポスターを展示して啓発を図ることにより、いのちへの関心を持っていただくことができました。

SDG s 15 陸の豊かさを守ろう

獣医師のセミナーにより、いのちの尊さを啓発することができました。また、猫のアートに触れ、ワークショップを体験することにより、保護猫に対して興味、関心を持っていただくきっかけを作りました。身近な命である保護猫を通して、命の大切さを啓発したことで、SDG s 15 陸の豊かさを守ろうを達成することができました。

SDG s 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

準備段階から、当団体の会員や、ボランティア、そして本事業に関わる方々と目標の達成に向けてチームワークが強くなっていきました。来館者の方ともセミナーやワークショップに参加していただく中で、積極的に交流し、自然生態系の保全・再生に関心を持つ理解者を増やすことにつながったと感じています。同じような保護猫活動をしている市外の方には、戸田市は地域の皆さんとこのようなイベントを一緒に開催できることが羨ましいと言っていました。

セミナー後も獣医師の先生と参加者が積極的に交流する様子もあり、動物について啓発活動の取り組み方なども話す機会になりました。

セミナーに参加することで、命に関して考える機会となり、理解してくださる方が増えたイベントとなりました。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
10 月 30 日	打合せ
10 月 30 日	会場下見
11 月 18 日	打合せ
11 月 24 日	会場下見
11 月 27 日	打合せ
12 月 21 日	打合せ・会場下見
1 月 14 日	参加者による事前ミーティング
2 月 4 日	チラシ配架
2 月 5 日	戸田東小学校・中学校にご挨拶
2 月 8 日	地域の皆様ご挨拶
2 月 16 日	Cat&Art! 2025 (保護猫啓発活動)

3 事業の実施体制

Cat&Art! 2025 (保護猫の啓発活動)

①保護猫の啓発活動 (陸のいのちを守る)

- ・ 矢作聡志獣医師によるセミナー (60 分) テーマ「犬や猫の病気について」ご参加の皆さんが真剣に聞き入っていました。
満席で 60 名でしたが、立見の方や入れ替えもありました。
- ・ 教えて矢作先生 (30 分) 参加者より、矢作先生への質問コーナー 6 名より質問がありました。

②猫の写真展示

- ・ 保護猫の写真を展示して里親様募集に繋げました。
- ・ 譲渡して家猫になった写真の展示により活動の尊さを伝えました。
- ・ 福祉センター入り口から図書館への動線に保護猫のビフォーアフターの写真を飾り、野良猫が保護猫になり家猫の幸せを掴むまでの道のりを伝えました。

③アートのワークショップ

- ・ トルコエブルアート (1 名) アトリエサフラン：犬と猫のエブルアート
- ・ 猫のアートのワークショップ、販売 (1 名)
- ・ ステラアートの展示 (3 名) 作者とご家族による説明がありました。
- ・ どうぶつ基金絵本の配布：50 冊 セミナーの参加者に配布しました。
- ・ どうぶつ基金ポスターの展示：5 枚 大会議室の壁に貼りました。
- ・ Car&Art!2025 参加者による寄せ書きポスターの展示：1 枚
中会議室で子供たちが自由に動物の絵を描きました。
- ・ Pico22 のパンフレットの配布 (50 冊) 大会議室で配布しました。

4 反省点と課題

予想以上の来場者により、案内や会場の整理などが不十分な時間がありました。次回の開催時には、余裕がある人員確保ができるように、協力者を増やしていきたいと思いました。

パンフレットの作成がイベント実施日の間際になり、近隣の小学校や中学校に事前のご挨拶に伺うのが遅くなってしまったので、次回はもっと早くパンフレットを作成したいと思います。

Pico22 という団体を知らない地域の皆さんも多かったので、日頃から地域の皆さんと交流する機会を増やして、活動へのご理解をいただく努力をしていきたいと思いました。

猫や犬の好きな人が多くセミナーにご参加していましたが、今後は、保護猫活動を幅広い皆さんに知っていただく機会を学校や町会などと連携して確保していくという課題を検討していきたいです。

《収支報告書》

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②-①)	内 訳
補 助 金・ 助成金	当補助金	50,000	50,000	0	
	その他				
自己資金		50,000	9,443	-40,557	
会費（参加費等）					
利用者負担金（売上等）					
協賛金・寄附					
その他		0	34,896	34,896	募金箱
合 計		100,000	94,339	5,661	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①-②)	内 訳
補 助 対 象 経 費	委託費	55,000	55,000	0	チラシデザイン委託費
	謝礼金	10,000	10,260	-260	講師への謝礼（お菓子等）
	消耗品費	5,000	2,759	2,241	文房具、コルクボード等
	小 計	70,000	68,019	1,981	※支出額内訳 補助金充当額：50,000 自主財源：18,019
	印刷製本費	20,000	20,000	0	下戸田商店会に支払い
	使用料	10,000	6,320	3,680	下戸田商店会に支払い
	小 計	30,000	26,320	3,680	
合 計		100,000	94,339	5,661	